

宮城県は、世界各国と信頼関係を築き、地域の国際化を実現するため、

各国・地域との友好交流を通じた国際交流・国際協力を進めています。



# 米国デラウェア州との姉妹交流が25周年を迎えます

アメリカ合衆国デラウェア州は、合衆国憲法を初めて批准した州(ファースト・ステイト)として知られています。今年、宮城県とデラウェア州は姉妹県州提携から25周年を迎えます。



# 中国吉林省との友好交流が35周年を迎えます

日中国交正常化から50周年を迎える今年、宮城県と中国吉林省は友好県省提携から35周年を迎えます。

**デラウェア州知事からのメッセージ**  
 デラウェア州知事 ジョン・C・カーニー

姉妹州締結25周年に際し心よりお祝い申し上げます。私たちは、25年にわたり職員の相互訪問を通じ理解を深めるとともに、州県の大学間の連携強化や、ビジネス分野での関係促進を図ってまいりました。大学レベルでの研究連携やデラウェア州における宮城県産品のPRなど、デラウェア州-宮城県の姉妹関係により、私たちは多くの機会を得ることができました。

この特別な関係における特筆すべき成果は学生交流であり、その影響は目に見えて大きなものです。25年間で、宮城県からは800人を超える学生が、デラウェア州からは400人を超える学生が相互に訪問し、地元の家族がホストファミリーを務めました。学生たちだけでなく、この素晴らしい事業の一翼を担うホストファミリーも、交流の恩恵を受けています。

現在に続く学生交流を生み出したこのつながりは太く、また深いものです。若者たちに、デラウェア州や宮城県を訪問し、それぞれの独自の文化を学ぶ機会を与えることは、こんにちのグローバルな市場においても極めて重要です。私たちはこれからも、姉妹交流のこの重要な側面を維持し、さらなる発展に努めてまいります。

私たちの友好的「生ける証」として、以前、宮城の県木ケヤキをデラウェア州の迎賓館ブエナ・ビスタの敷地に植樹したことは大変喜ばしいことでした。ケヤキは今も成長しています。この木が、私たちの姉妹関係と同じように、これから何年も成長し続けていくことを切に願います。

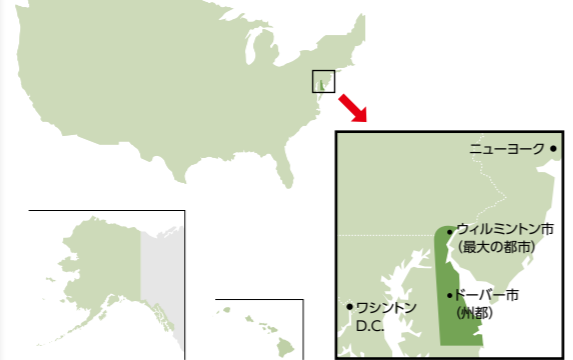
**デラウェア州との交流概要**

アメリカ合衆国デラウェア州は、東は大西洋やデラウェア湾に囲まれ、ニューヨークや首都ワシントンまで車で約1時間半の便利な距離に位置しています。

歴史的な建物、地ビールやワイン巡り、ビーチや豊かな自然などの魅力のほか、消費税がなく、多くの観光客が訪れる地域です。

また、製造業や農業が盛んで、世界的な有名企業のデュポン社やゴアテックスなどに代表される化学産業や、養鶏業などが特に有名です。

宮城県とデラウェア州は、平成9年9月に姉妹県州の議定書を締結し、以降、教育や行政、経済分野などで交流を続けてきました。



**デラウェア州の基本情報**

人	989,948人 (46番目/50州)
面積	5,133.36km <sup>2</sup> (49番目/50州)
主な産業	化学、バイオ、金融、農業、水産業など
愛称	「The First State」(連邦最初の州)
州都	ドーバー市



美しい海岸と遊歩道が人気の州南部のリボスポーチ | 歴史的な建造物が並ぶ州都ドーバー市 | 州最大の都市であり経済の中心地州北部のウィルミントン市

**吉林省との交流概要**

中国北東部に位置する吉林省は、中国有数の穀倉地帯であり、石炭・天然ガス・石油などの天然資源も豊富な地域です。また、自動車産業が集積していることでも有名です。

宮城県と吉林省の交流は、昭和55年の農業考察団を受け入れたことに始まり、昭和62年に友好県省の議定書を締結。以降、幅広い分野にわたって交流を行ってきました。

例えば技術交流では、これまで吉林省から60人を超える研修生を受け入れてきました。

また、県からも吉林省に15人の職員を留学派遣しています。

**吉林省長からのメッセージ**  
 吉林省長 韓俊

盛夏の候、吉林省人民を代表し、宮城県民の皆さんに謹んでご挨拶と祝福を申し上げます。

今年は中日国交正常化50周年、吉林省と宮城県の友好県省関係締結35周年の年です。両省県が互いに手をとり駆け抜けてきた35年の歳月、双方の各界の人々は誠実に接し合い、積極的に対話を重ね、経済貿易や文化、環境保護、医療、スポーツなど、多岐にわたる領域で優れた、効果のある友好交流協力を進め、数多くの貴重な思い出を残しました。双方が相互に協力し、中国-北東アジア博覧会、北東アジア地区地方協力円卓会議、日本全国高校生総合芸術祭などの大型行事を行い、研修員・留学生の相互派遣を持続するなど、中日友好に向け努力し相互信頼を深めることのできる有識者を育成し、両省県の友好交流と密接な協力の基礎を固めました。

35年間、両省県は共に歩み、風雨の苦難も乗り越えてきました。突発的な災害や困難に直面しても、常に支え合ってきました。特に新型コロナウイルス感染症への対応に際しては、双方は互いに防疫物資を送り、慰め、励まし合い、協力してコロナに立ち向かい、友好の美談を残しました。

今後の展望として、吉林省は、中日国交正常化50周年を契機に習近平国家主席と岸田文雄首相が示した「新時代の要請にかなった中日関係を築くことを促進する共通認識」を真摯に実行し、これまでと変わらず積極的に宮城県との友好関係を強固なものにし、拡大することに注力してまいります。双方の友好交流事業を通じ、中日友好に新たな1ページが加わることを期待しております。

両省県の友情が永遠に栄えますとともに、宮城県の繁栄と発展、並びに県民の皆さんの生活の幸福をお祈りします。



**吉林省の基本情報**

人	約2,700万人 (宮城県の約10倍)
面積	187,400km <sup>2</sup> (宮城県の約25倍)
主な産業	自動車、石油化学工業、農産品加工など
省都	長春市
気候	夏は高温、冬は寒冷で雪が少ない



高速鉄道列車「復興号」 | 紅旗の新型高級SUV E-HS9 | 蓮花山スキー場(長春市)

**交流のあゆみ**

2022年 2020年 2017年 2014年 2012年 2011年 2007年 2005年 2003年 1997年

- 2022年: 姉妹交流25周年に当たり、デラウェア州訪問団の受け入れなどを予定
- 2020年: ドーバー市内で県産日本酒をPRするイベントを開催
- 2017年: 姉妹交流20周年で宮城県副知事がデラウェア州を訪問
- 2014年: デラウェア州内スーパーで県産品の試食販売PRイベントを初開催
- 2012年: 仙台二華高校がミドルタウン市ミドルタウン高校と姉妹校締結
- 2011年: 東日本大震災発生。デラウェア州から、約10万ドルの寄付を受ける
- 2007年: 姉妹交流10周年で宮城県知事がデラウェア州を訪問し、州知事と経済交流促進で合意
- 2005年: 角田高校がドーバー高校と姉妹校締結
- 2003年: 岩沼市とドーバー市が友好都市締結
- 1997年: 姉妹県州締結

①調印式の様子 | ②角田高校-ドーバー高校の交流

**交流のあゆみ**

2022年 2020年 2017年 2012年 2011年 2007年 1987年

- 2022年: 友好県省35周年に当たり、福祉分野をはじめとした各分野での記念交流事業を予定
- 2020年: 1月、マスクと蓄圧式噴霧器を寄贈 | 4月、吉林省からマスク、防護服、フェイスシールドなどの寄贈を受ける
- 2017年: 友好県省30周年を記念し、県と吉林省で記念行事を実施
- 2012年: 吉林・北東アジア国際青少年芸術祭にすずめ踊りの祭連を派遣
- 2011年: 東日本大震災発生。吉林省から義援金(10万ドル)や飲料水などの支援を受ける。
- 2007年: 友好県省20周年を記念し、仙台駅で「宮城・吉林友好フェスタ」を開催
- 1987年: 県としては初となる友好県省の議定書を締結

①友好旗を交換 | ②宮城・吉林友好フェスタ | ③吉林・北東アジア国際青少年芸術祭 | ④宮城・吉林省友好県省締結30周年記念式典 | ⑤吉林省からの支援物資